

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.209

■ 2023 年度自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）  
第5回「3つの役割を果たす！構内物流改善の進め方」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様からご要望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、中堅技術者向け Web セミナーとして開催しています。

本年度も自動車工学関連講座の一環として、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用していただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、その第5回目として「3つの役割を果たす！構内物流改善の進め方」のセミナーを開催しました。

- 日 時 : 令和5年10月18日(水) 13時30分～15時30分
- 場 所 : Web形式
- 参加者 : 43社/176名

～ 会社全体の収益向上に貢献する！～

## 3つの役割を果たす！構内物流改善の進め方

### 第1章：構内物流の機能と役割

ものづくりコンサルタント カイ先生      アシスタント あおいさん

**本講義の構成**

- 第1章：構内物流の機能と役割
- 第2章：構内物流改善のステップ
- 第3章：構内物流の第1の役割と改善の進め方
- 第4章：構内物流の第2の役割と改善の進め方
- 第5章：構内物流の第3の役割と改善の進め方

Produced by Kein物流改善研究所 × KAIZEN BASE  
Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

### 3つの役割を果たす！構内物流改善の進め方

目次

- 1 構内物流の機能と役割
- 2 構内物流改善のステップ
- 3 構内物流の第1の役割と改善の進め方
- 4 構内物流の第2の役割と改善の進め方
- 5 構内物流の第3の役割と改善の進め方

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

### 第1章：構内物流の機能と役割

3. 構内物流が果たすべき3つの役割

#### (その1) サービス業としての役割

工場は、ものづくりをすることで価値を生む

生産ラインがそのものづくりに集中し、**極限まで生産性と品質を向上できる環境の整備が必要**

構内物流の役割は **生産ラインの付加価値向上に寄与すること**

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

### 第1章：構内物流の機能と役割

3. 構内物流が果たすべき3つの役割

#### (その2) 司令塔としての役割を果たす

重要性は誰しも感覚的にはわかってはいても、実際にその役割を正しく理解し実行できていない。

構内物流は、工場内の血管として、工場内に栄養分を行き渡らせる役割を果たす。

途中で詰まったり、流れが悪くなることなく、必要な時、必要な場所に、必要な分だけ、淀みなく流れるようにする！

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

### 第1章：構内物流の機能と役割

3. 構内物流が果たすべき3つの役割

#### (その3) 効率的物流を実施する役割を果たす

工場内でモノの移動を極力発生させないよう工務を工夫する！

工場内で発生したモノの移動を極力効率的に実施する。

モノの移動が難しいのが理想！

出ってしまったものは効率的に運ぶ！

**IEの視点から物流作業改善を行なう！**

IE=Industrial Engineering：生産工学作業や工務を科学的に分析する手法

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

### 第2章：構内物流改善のステップ

1. 構内物流改善の3つのステップ

サービス第1！

**HOP 第1の役割**  
サービス業として現場の価値時間を向上させる

**STEP 第2の役割**  
司令塔として生産の流れをコントロールする

**JUMP 第3の役割**  
物流作業を効率化させ物流コストを下げる

3つのステップで物流改善を進め、**生産ラインの生産性向上への寄与と物流コスト低減を推進！**

Copyright © KAIZEN BASE, Inc. All Rights Reserved.

## 【参加者の声】

- ・ 構内物流の役割は「モノ」を運搬する運送業ではなく、「モノ」「情報」を届けるライン作業の効率化に貢献するという考え方であるという基本が良く理解できた。
- ・ 価値作業以外は、ムダにつながるということが印象的だった。また、ムダを1か所に集め、目立たせるということも重要だと思った。ムダを無くしていくことで、会社への利益、現場の負担低減につながるので、学んだことを生かし、構内物流の見直しも進めていきたい。
- ・ 生産現場が付加価値を生む活動に専念できるように、構内物流は、現場に対するサービス業という意識を持ち、次工程はお客様で仕事を行うという視点を初めて学んだ。付加価値を生まない作業（ムダ）を構内物流で巻き取ってから無くしていくというカイゼンのやり方はとても参考になった。
- ・ 構内物流が果たすべき3つの役割を実行することで付加価値を高めることが実感できた。後工程はお客様であることを意識することなどは、構内物流以外にも考え方は応用ができ、どの部門・業務においても後工程は存在するので、果たすべき役割をしっかり認識し、全体として付加価値を高めなくてはならぬと感じた。
- ・ 物流改善を図る際、ごく一部の関係者だけで進めた結果、会社全体で見るとかえって効率悪化・経費増加となってしまうこともある。生産ファーストで、生産ラインがものづくりに特化・集中できるような環境・仕組み作りを目指し、会社全体で効率化改善を進めて行くことが、あるべき姿への近道であると感じた。
- ・ 物流だけにとらわれるのではなく、生産ラインも含めて全体最適の考えで改善を行うという点が、参考になった。
- ・ 物流改善において様々工夫し改善は進めてきたが、その改善に満足していることに気付きを頂けるセミナーであった。荷受～収納～荷揃～出荷において、現状に満足せず継続することの大切さを再認識した。
- ・ 構内物流は単なる運送業としての仕事ではなくサービス業と捉えて、モノと情報を提供する重要な仕事であることを改めて認識することができた。また、司令塔として生産統制や出荷統制をさせることまでも求められている仕事であることも理解し、今後の生産活動に取り入れて会社の業績アップに貢献していくように活動していく。
- ・ 構内物流はサービス業としての役割もあるという考え方は非常に参考になった。構内物流（生産管理）の業務をしている身として、場内の管理だけでなく、作業者の価値作業時間をいかに向上させられるかにも注力したい。
- ・ 誰の為に荷姿かによって入れ数や収容方法が変わることが参考になった。ムダを1か所にまとめて見えるようにしたいと思った。
- ・ 構内物流改善といっても何を目的にするのかで対策が変わる。価値作業の割合を増やすために何をすべきか改めて見直しが必要と気づきがあった。
- ・ 製造部門での業務経験があり、内容がとても分かり易く、物流部門 ⇄ 製造部門の物流改善だけでなく、製造部門内のキット化や最適配置化により、さらなる生産ラインの品質・生産性向上に繋がるところがとても共感できた。また、キット化は、現部門で取り入れており、継続して改善を進めていこうと思った。
- ・ 構内物流に関する基本的な考え方、生産ラインの作業性を一番で考えて検討する、生産ラインがやっているムダな作業を構内物流部門が担い、全体で改善するといった基本的な考え方などの説明が多くあり、勉強になった。